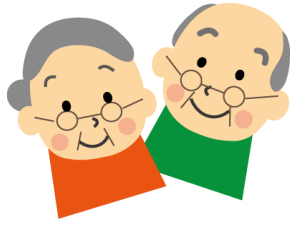


ケアケア



**ケアケア畳(衝撃緩和型畳床)は
高齢者向施設・幼児 児童施設・一般住宅に
お使いいただけます**



介護保険における住宅改修対象として“ケアケア畳”が認められました！

平成29年7月

滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更居室においては畳敷から板製床材やビニル系床材等への変更、浴室においては床材の滑りにくいものへの変更、通路面においては滑りにくい舗装材への変更等が想定されます。

※居室要介護被保険者の心身の状況、住所の状況等を勘案して必要と認められる場合には、**畳敷から畳敷**(転倒時の衝撃緩和機能が付加された畳床を使用したものなど同様の機能を有するものを含む。以下同じ)への変更や**板製床材等から畳敷への変更**についても認められる。



JIS A5917認定ケアケア畳のJIS化された性能

★日常的な動作時の床の硬さ

→0.8以上1.3以下

※床の硬さに単位はありません。腰下ろし・正座などでは0.6以上が推奨値となっています。0.8以上1.3以下は、日常生活において硬すぎず柔らかすぎず評価の高い推奨値です。

★転倒衝突時の床の硬さ

→50G以下

※G値は転倒衝突時の衝突加速度を示します。G値が小さなものほど安全性に優れているといえますが、床材としては比較的厚く、柔らかくなる傾向となります。50G以下は柔道場(65G以下)より柔らかくなります。

★局部圧縮量 →4mm以下

(床性能評価指針/日本建築学会より)

品質保証の公認マーク

JIS A5917の性能を満たした畳床には、製品の品質が保証されたものとして、
全日本ISO畳振興協議会/
全日本畳事業協同組合の
公認マークが付与されます。

衝撃緩和型畳床



[出展] 国際福祉機器展H.C.R2018
ブースNo: 4-03-02(東4ホール)



東海機器工業株式会社



URL <http://www.tokaisun.com/>

●本社・工場
〒481-0035 愛知県北名古屋市長田73番地
TEL 0568-68-7111(代) FAX 0568-68-7011
●営業所/宮城・埼玉・大阪・広島・福岡

[ケアケア畳開発]

●全日本ISO畳振興協議会
千葉県館山市正木787-27
TEL: 0470-20-5280
syogeki1940@mbr.nifty.com
●全日本畳事業協同組合
東京都台東区上野3-4-6
TEL: 03-3836-3989
kanwa@tatami.or.jp



介護施設等

保育園や児童館等

高齢者向施設・幼児 児童施設・一般住宅



転倒・転落事故

高齢者向施設・幼児 児童施設・一般住宅での
高齢者・小さい子供の転倒やベッドからの転落
→ケガや骨折が心配



介護時の膝痛

高齢者向施設や一般住宅で、
膝を着いての介護で膝を痛めやすい
→介護者の負担蓄積



ケアケア畳(衝撃緩和型畳床)で改善!

※介護保険適応

★ポイント1★

一般の畳やフローリングと比較して滑りにくく
つまづきにくいいため歩きやすい
膝をついても傷めにくく疲れにくい
→足の疲労感を軽減・歩いていて気持ちいい

※すべり試験抵抗値(～0.3滑る⇔つまづく0.9～)
ケアケア畳→0.45～0.59
(一般的な畳→0.3～0.4
一般的なフローリング→0.4以下)
建築部位部材性能研究会による試験

★ポイント2★

転んだりベッドから落ちたりしてもクッション性のある構造で衝撃が緩和
→骨折などのリスクを軽減

★ポイント3★

断熱性能をもつ素材を使用しており、足元からの冷えを軽減

★ポイント4★

JIS認定を受けており、製品性能を生産品質を担保



安全・安心でお使い
いただけます



＜ケアケア畳の断面形状＞



＜各材料の役割＞

①表面材

クッション性かつ反発力のある部材で、その下にある断熱材(高密度押出発泡材(HI))を保護する機能を持つ

②断熱材(上)

緩衝材であるコルゲート板によりしなやかにたわむ性能を持つ

③緩衝材

緩衝材であるコルゲート板(波板)はメッシュ構造で、上部の表面材・断熱材をしなやかにたわませる性能を持ち、かつ反発力をあわせ持ち、歩きやすくする機能を持つ

④断熱材(下)

上部からの衝撃を受け止める役割を持つ

⑤裏面材

断熱材(下)の引っかけ等の保護の役割を持つ

★高齢者や4700万人以上といわれるロコモティブシンドローム(運動器症候群、予備軍)の方々の日常では転倒事故も多い(右図参照)

★住宅などでの「今ある畳をケアケア畳に入れ替える」取り組みの実施によって、地域での「安心・居住」のリノベーションにも繋げる(国土交通省「スマートウェルネス住宅・シティ」)

日常生活でも、転倒・転落災害死は交通事故死より多い



出典：厚生労働省 人口動態統計「死因別死亡者数の推移」
「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」より

(公社)日本整形外科学会HPより